

学校長様
生物科様

大阪府高等学校生物教育研究会
会長 柴原 信彦

指標生物調査：セミの抜け殻調査への参加のお願い

青葉の候、貴校ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃は本研究会の活動に特別のご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、5年ごとに行ってきました指標生物調査ですが、来年2023年に日本生物教育会全国大会が大阪で開催されることを受け、1年前倒しで調査を実施することになり、夏休みを利用してのセミの抜け殻調査への参加をお願いする運びとなりました。今まで、一度も参加されたことのない方も、気軽に参加していただくと幸いです。

この抜け殻調査では、5000m²以上の広さの校庭、公園・緑地、社寺・山林などで、手当たり次第に20分間（3名以上の場合は15分間）抜け殻を採集していただくというものです。採集した抜け殻は、そこに含まれるクマゼミの割合（クマゼミ率）を計算していただき、調査地点ごとのクマゼミ率を比較するというものです。過去に日々出現した抜け殻を集める調査を行ったところ、クマゼミの方がアブラゼミよりも早く出現し、メスよりもオスの方が速く出現していましたので、クマゼミのオスが最初に出現し、アブラゼミのメスが最後に出現していました。幼虫の出現期間は3週間ほどですが、クマゼミが出てから10日ほどでその年に出る幼虫の50%以上が出現していましたので、鳴き声を聞いてから1週間から10日ほど後に調査していただくと多くのぬけがらが採集できるのではないかと考えています。また、クマゼミはケヤキやセンダンが好きで、アブラゼミはメタセコイアが好きという好みがあったり、大阪城公園では梅園や桃園では多くの抜け殻が採集されたのに、ドングリのなるアラカシの多い場所ではほとんど抜け殻がなかったりということもありました。標高が低い所ではクマゼミ率が高く、逆に標高が高い所ではクマゼミ率が低いという傾向があったりもしました。

今回、どのような結果になるのかわかりませんが、是非お近くの広場でセミ時雨の中、汗をかきかき、抜け殻調査をしてみませんか。ご参加をお待ちしています。

なお、調査の性質上、調査場所が重ならないように調整する必要がありますので、参加される場合は是非ご一報ください。抜け殻の見分け方などについては河川の指標生物調査の講習会后、その場で行いますので、奮ってご参加ください。なお講習会に参加できない場合でも、抜け殻の見分け方の資料をお送りします。参加の申し込みは、下記の申し込み先へメールかファックスでご連絡いただくか、講習会当日に直接申し込んでいただいても結構です。

調査法講習会 7月8日（金）府立高津高校

7月15日（金）高槻市のアクアピア芥川

申込先 同志社香里高校 古本 大 Tel 072-831-0285 Fax 072-834-3750

e-mail daigene@kori.doshisha.ac.jp

セミの抜け殻調査2022の参加申込書

学校名 _____

ご担当教員名（代表者） _____

連絡方法（メルアドなど） _____

参加者（○をつけてください） 教員（ ） 高校生（ ）

ご希望調査場所 _____, _____ (市町村名や公園名など)